

「軽症小麦アレルギー児における除去解除へ方法の検討」

1. 研究の対象

2013年1月～2019年6月に当院でうどん10gの食物経口負荷試験を受け、陰性であった方

2. 研究目的・方法

当院では小麦アレルギーと診断された方は食物経口負荷試験を受け陰性であった場合、その後定期的に食べながら自宅で少しずつ増量するよう指導することがあります。この方法が有効であったかどうか、安全であったかどうかについて診療記録を基に検討します。これにより、食事指導の妥当性を検討し今後の食物アレルギー診療に活かします。

患者様の氏名などの個人情報は省いた形での臨床研究になりますので、個人情報が外部に漏れることはありませんのでご安心ください。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、アレルギー症状の既往、食物経口負荷試験の結果、血清総IgE値、血清小麦関連特異的IgE値、通院中のアレルギー症状、1年後の小麦摂取状況 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒989-3126 仙台市青葉区落合4丁目3-17

電話：022-391-5111（代表）

研究責任者：宮城県立こども病院 アレルギー科 三浦 克志

